

“鮮度一番！”

No.158

～女性と男性が支え合う社会をつくる～

CONTENTS

- 1 / ひとことコラム 総会のご案内
- 2 ~ 3 / 運営委員会で話し合われたこと
- 3 ~ 4 / さんじょう地名メモ…(9)
- 4 / お知らせ 編集後記

・・・ひとことコラム・・・

S. M

老人力(?)を見ました。近くの小路で談笑している、大正生まれの3人の小母様に声をかけられました。いつも仲良く立ち話をしている90歳前後の3人のおばあちゃん達です。会話に入り驚きました。3人の会話はばらばらなのです。好き勝手の話をしていました。人の話をうんうんと頷きながら聞き、自分の番になると、まったく違うことを話し始めます。話題は骨折して入院した時の見舞客の事。〇〇さんがディサービスに行き始めた事。近くに空き家が増えた事。三人三様の話を、笑顔で長々と話し合っていました。会話は繋がらないのに、違和感もなく楽しそうに話し合っていました。「ああ、それは違うよ」と話の腰を折ったり、「ちょっと待って、私が説明する」と、人の話を遮ることもせず、にこやかに聞き合っていました。私にも問いかけられましたが、答える前に他の人が別の事を話し始めていました。最後は同時に、楽しかった。また・・・で終わりました。

本当に摩訶不思議な、井戸端会議でした。

第17回三条女性会議総会の開催について (ご案内)

青葉の候、会員の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。平素から当会運営に格別のご支援、ご協力をいただき深く感謝しております。

さて、下記のとおり総会を開催致します。何かとお忙しいことと存じますが、どうぞご出席くださいますようお願い致します。

記

●日 時 **6月2日(土)**

午後5:00~6:00 総会
6:00~7:00 記念講演会
7:00~9:00 懇親会

●会 場 まるい

(三条市旭町1-5-16 TEL32-2208)

●記念講演 講師 三条考古学研究会 勝本百合さん

●会 費 4,000円(当日会場で申し受けます)

※出欠の有無を同封のハガキにより

5月28日(月)までにお出し下さい。

運営委員会で話し合われたこと

日 時 平成24年5月9日(水) (PM1:30~3:30)

場 所 男女共同参画センター

総会が近づいてきました。大勢の皆様からご出席を頂き、お話しをお聞かせ願えればと思っています。



1. 第17回総会について

6月2日(土)に開催する総会に向けて、活動計画や予算案等について最終確認をしました。昨年、会則を変更して年会費が3,000円になったことで、運営費がとても助かったことを改めて感謝いたします。

また2年毎の役員改選の年でもありますが、当会の運営に力を貸し下さる方、気軽にお手を上げてくださらないかな~と思っています。

1ページに総会の案内を載せましたので、どうぞ万障繰り合のうえご出席くださいますようお願い致します。

2. 「大人の女性のためのしただツアー春編」について

6月6日(水)開催の「大人の女性のためのしただツアー春編」ですが、市の広報に載ってから申込みが殺到し、いい湯らていのイタリアンレストラン「Gozzlatte」に入れるぎりぎりの32名で締め切りました。

今回の行き先、スノーピーク本社、みひろ窯、北五百川の棚田でどんな出会いがあるのかとても楽しみです。

参加出来ない皆様、どうぞ参加報告をお待ち下さい。

3. 燕三条エフエム放送(ラジオは~と76.8MHz)“ワイワイ女性ひろば”

●本放送 毎週木曜日 11:00~11:30 ●再放送 毎週水曜日 19:30~20:00

5月のテーマ 「まちあるき」

- ①ゴールデンウィーク版まちあるきのヒント
- ②春のまちあるきイベント~5月開催おすすめコース~
- ③♪新緑の季節♪ご近所の巨木・名木に会いに行こう!
- ④燕三条「畑の朝カフェ」
- ⑤まちあるきマップを集めてみよう



メンバー：岡村直道（三条まちあるき連絡協議会会長）

三条雲蝶会（安藤、角田、赤塚）

田辺とも子

新緑の季節にふさわしい5月、5週分をお届けします。身近にあるのに今まで知らずにいた宝物に気づいていただけたらと思います。ご意見ご感想をお待ちしています。

6月のテーマは「今どき結婚事情」を予定しています。（田辺）

4. その他

北京J.C・新潟の会報紙面より、東日本大震災復興基本法についての話が広がりました。復興に必要なのは、単に物ではなく一人ひとりを大切にする生活の支援や個人への尊厳が必要なのではないか。また、他の視点から「あきらめの覚悟」という理性も必要であろうと発言がありました。

さんじょう地名メモ (9)

「アイヌ語地名と三条 五十嵐（いからし）」

三条地名研究会 杉野真司

北海道の地名がアイヌ語であることは周知の通りで、和語で解釈することはできません。一方、本州の地名は基本的に和語で解釈を試みなければなりません。難解な地名に遭遇すると、アイヌ語由来だとして、アイヌ語説を唱えられる地名は枚挙に暇がありません。例えば、三条市内でも栄地区の大面（おおも）を、「アイヌ語の深く静かな湖の意である『オオモナイポ』による」（角川日本地名大辞典 15 新潟県）とする説があります。大面は難解な地名ではありますが、和語による解釈も不可能ではなく（表・オモチを意味するオモの転訛したものか）、アイヌ語に依拠する解釈は疑わしさを拭えません。しかしながら、必ずしも本州の地名をアイヌ語で解釈することが間違いであるとは言い切れません。

金田一京助や知里真志保、山田秀三といったアイヌ語研究者の調査によって、確実なアイヌ語の南限は、太平洋側が仙台以北、日本海側は秋田県と山形県との県境付近が濃厚であると考えられています。今後は、個々の地名を精査して、どれくらい南下できるかが研究の課題となっています。

アイヌ語の南下の指標となる地名の一つに五十嵐（いからし・いがらし・いかなし）があります。五十嵐地名は人口に膾炙した地名であるにもかかわらず、かなり難解な地名でもあります。五十嵐地名は、垂仁天皇の第六皇子五十日帯日子命（いかたらしひこのみこと）にその起源を求めることが一般的ですが、自然地名に起源を求める和語での解釈も可能ですし（洪水をおこすイカリに由来するか）、アイヌ語説の蓋然性も高く、歴史や伝説に彩られた複雑かつ奥深い地名と言えます。

インカルシ（眺望する所、見晴台）というアイヌ語が五十嵐の語源かと推測されています。北海道紋別郡遠軽町（えんがるちょう）に瞰望岩（がんぼういわ）という高さ 80 メートルの岩山があります。遠軽の語源は五十嵐と同じインカルシで、元はインカルシと呼ばれていた瞰望岩に漢字が当てられて遠軽になりました。この瞰望岩は高さこそ違うものの八木ヶ鼻にそっくりです。五十嵐もインカルシの転訛で、その起源は八木ヶ鼻ではなかったかとアイヌ語研究者の村崎恭子先生（元横浜国立大学教授）は指摘されています（「アイヌ語地名で探る日本列島」『聚美』2号、青月社）。

【お知らせ】

東日本大震災で大きな被害を受けた岩手県釜石市・大船渡市、宮城県気仙沼市の合計6つの児童館・児童クラブからのメッセージ写真集が発刊されました。

東北の子どもたちからのメッセージ

“僕らは 今を生きている..”

“復光、へ

子どもたちは今を生きています。
それは一筋の光のように感じました。
子どもたちのまばゆい光が日本中に届きますように。

※この写真集の売上は全て、当財団「東日本大震災・児童館活動支援基金」に繰り入れ、被災地の児童館・子どもたちの支援活動に役立てます。

★写真：笑顔写真家 かとうゆういち ★価格：1冊1,000円

★お問い合わせ (財) 児童健全育成推進財団

広報部 電話：03-3486-5141

編集後記：

連休の天気には閉口しましたが、無事に田植えが終わりました。育苗箱の中で窮屈そうにしていた苗が水を得た魚のように水田にどっかりと腰をおろしとても喜んでいるように思えました。まだ若い苗たちにこれから先どんな人生(?)が待っているのか期待が膨らみます。編集後記が農家の歳時記みたいになってきていますね(笑)。次号もご期待ください！鮮度一番の今号もどうぞすみからすみまでお読みください。(原)

編集発行：三条女性会議・代表 野崎ミチコ

連絡先：三条市田島2丁目12-12 Tel 32-3667 FAX 32-3679

ホームページアドレス：<http://www.joseikaigi.net>